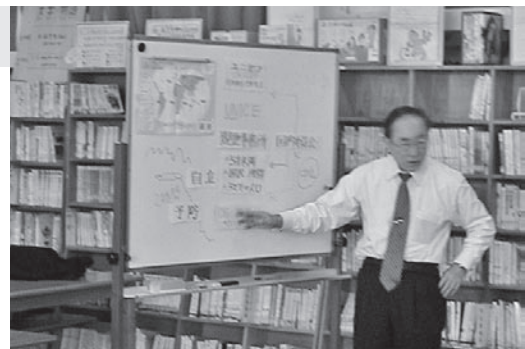


小学校 6年社会科

# 「世界に目を向け、自分を見つめ直す」実践

国際理解単元でユニセフを教材に取り入れた東京都分寺市立第五小学校6年担任の内田稔先生の実践をご紹介します。



日本ユニセフ協会の講師より授業を受ける

単元名

## 「世界平和と日本」

単元の目標

我が国の国際交流、国際協力、国連における働きを調べ、世界の人々が共生していくためにはお互いの文化や習慣を理解し合うことが大切であること、また世界平和の実現を目指して、さまざまな立場の人たちが協力し合い、その中で我が国が重要な役割を果たしていること、また今後ますますその活躍が求められていることを理解する。

指導計画(11時間)

時	ねらい	主な学習活動
①	我が国の世界の国々へのかかわりにほどもあるかを考える。	○我が国の世界の国々へのかかわりを示した写真を見て、説明文を書く。 ○写真を分類し、我が国が文化・スポーツの交流を通して、世界の国々と相互理解や親善を深めていることについて考える。
②	対人地雷の問題について知り、興味・関心をもつ。	○対人地雷の被害を受けた12歳の少女の話を聞く。 ○資料から対人地雷の問題に関する事実をつかむ。
③	Aさんの対人地雷除去の取り組み〈民間〉について調べ、自分なりの考え・意見をもつ。	○地雷の除去に携わるAさんの取り組みを紹介したビデオを見て、分かったこと、思ったことをワークシートに書き、発表し合う。

我が国では、世界の平和のためにどのような取り組みをしているのだろうか？

④	世界平和のために活動する人たちの様子を調べる計画を立てる。	○世界平和のために活動している人・団体・組織を調べる。 ○世界平和のための活動の様子を調べる計画を立てる。
⑤ ⑥	青年海外協力隊〈政府〉について調べ、自分なりの考え・意見をもつ。	○青年海外協力隊の活動について調べる。 ○元青年海外協力隊の方から話を聞き、自分なりの考え・意見をまとめる。
⑦ ⑧	ユニセフ〈国連機関〉の活動について調べ、自分なりの考え・意見をもつ。	○ユニセフの活動について調べる。 ○日本ユニセフ協会の方からお話を聞き、自分なりの考え・意見をまとめる。
⑨ ⑩	我が国の国際協力とこれからの自分の生き方について、考え・意見をもつ。	○我が国の国際協力について、自分なりの考え・意見を書き、交流し合う。 ○日本人として、これからどのように生きていきたいかについて、自分の考え・意見を書き、交流し合う。
⑪	ゲストティーチャーにお手紙という形で自分の意見・考えを発信する。	○前時で深めた自分の意見を盛り込みゲストティーチャーの方たちにお礼のお手紙を書く。

《本時の活動》

- ① 学校で行われたユニセフ募金について振り返る。
- ② ビデオ視聴「ユニセフと地球のともだち」  
→ 世界の子どもたちの現状とユニセフの活動を知る。
- ③ 日本ユニセフ協会の方からお話を聞く。  
・ユニセフの活動と仕組み(組織・資金)  
・水がめを運ぶ体験
- ④ 考えたことをまとめ、交流し合う。



水を入れたかめを持つ子どもたち

●子どもたちの感想●

・私は、150ヶ国以上の国がユニセフの支援をうけていることを知り、驚きました。少しずつ、支援される国が支援する国になれるように、私も募金など協力できることはやろうと思いました。  
・世界には大変な思いをしている人がたくさんいる。私たちはもっとユニセフについて知るべきだと思いました。  
・自分たちの国だけを考えるのではなく、困っている国に目を向けて、手助けしてあげなければいけないのだと感じました。

●内田稔先生の話●

今回の実践では、日本ユニセフ協会の方からユニセフの仕組みについてくわしくお話をさせていただきました。その結果、それまで学習してきた民間や政府による国際協力と比較しながら、世界中の人々の協力の下、より大きな規模で行なわれている組織的、計画的な支援の様子について子どもたちの身近に引き付けてとらえさせることができました。また世界中の子どもたちを取り巻く現状を知ることを通し、世界に目を向けると同時に、自分たちの生き方を見つめ直すきっかけとすることができました。